

しおがまの水道



平成23年11月16日に、ひまわり幼稚園の子供たち99人が、梅の宮浄水場を見学にきました。「水について」のビデオを見た後、できたての水を飲んだり、水を流すための大きな管(導水管)の中を潜ったりと、楽しく熱心に見学しました。興味津々な子供たちから、「水は最後にどこに流れていくの?」「下水道の水は飲むことができるの?」「高い場所へどうやって水を流すことができるの?」など色々な質問がでました。最後に、園児たちより、手作りのシオンちゃん入りカレンダーを頂きました。“水を大切に使うことを忘れないでね”と言う職員たちの声に応えながら、ハイタッチをして、楽しそうに帰ってきました。

梅の宮浄水場見学	1P
応急給水訓練を実施しました	2P
飲料水・生活用水を確保しましょう	2P
水道モニター募集	2P
塩竈市の水道は今年で百歳！	3P
放射能測定結果について	4P
水道管の凍結にご注意を	4P
り災証明が半壊以上のお客様へ	4P



応急給水訓練を実施しました



水道部では、迅速に確実な給水活動が行えるよう、毎年定期的に応急給水訓練を実施しています。今年度は東日本大震災での経験や反省点を踏まえ、より安定した給水を目指して、職員のほか、震災時に給水応援をいたいた水友会（水道部OB）の方々も参加し訓練を実施しました。

今後は、町内会や自主防災組織などの皆さんにも参加を呼びかけるなど、市民との連携による応急給水訓練などを検討してまいります。

飲料水・生活用水を確保しましょう



水道水の保存方法

- ・清潔な容器に空気が残らないように水を満たして、フタをします。
- ・直射日光の当たらない、風通しのよい場所で、約3日間を目安に保存します。

生活用水

- ・お風呂場に水をためてフタをしておきましょう。
- ・一人一日約3リットル最低3日分は備蓄しましょう。

飲料水

災害により断水になった場合、応急給水ができるようになるまでは、各家庭で水を確保しなければなりません。食料と同じように、3日分の飲料水を清潔なポリタンクなどに備蓄するよう心がけましょう。

平成24年度 水道モニター募集！

塩竈市水道部では、利用者の皆さまからのご意見やご要望をお伺いするために、「**水道モニター**」を募集します。

- 募集期間** 平成24年1月4日(水)～平成24年1月31日(火)
- 対象** 給水区域内に居住の満20歳以上の方 10人程度
(ただし、国・地方公共団体等の職員は除きます。)
- 委託期間** 平成24年4月1日～平成25年3月31日 1年間
- 内容** アンケートや、水道部のいろいろな活動への参加をお願いします。
- 応募方法** 氏名・性別・年齢・住所・連絡先電話番号・モニター経験の有無、応募の動機を記載してハガキでお申し込み下さい。詳しくは問合せ先まで。
- その他** 応募者多数の場合は抽選により決定いたします。

皆さまの声を
聴かせて下さい！

参加をお待ちしてます！

【水道部キャラクター
シオンちゃん】



問い合わせ先

水道部総務課企画総務係まで
TEL: 022-364-1415
FAX: 022-362-0411
メール: w_kanri@city.shiogama.miagi.jp
郵便: 〒985-0022
宮城県塩竈市新富町21番23号

塩竈市の水道は今年で百歳！



塩竈で一番古い権現堂浄水場

塩竈は、日本三景の一つ松島湾に位置し、その昔から水に乏しく、住民は丘陵ぞいからの湧き水に飲料水を求めていました。しかし、増加する民家の水需要を満たすことができず、井戸が掘られましたが海が近いため、飲料に適した水はほとんど出なかったといわれています。

そのため、水不足は解決されず、住民は飲料水の確保に苦しんでいたので、明治45年に利府村春日字寒風沢地先の湧水に水源を求めて、その地に堰堤を築造し、貯水池として取水口を設け、権現堂浄水場で浄水を行いました。県内で初めての近代水道として給水し、今年で百年が経過します。

塩竈市の水道の歩み

明治45年7月 上水道創設事業竣工
(春日水系給水開始)

昭和7年10月 第一期拡張事業竣工
(七北田水系給水開始)

昭和16年11月 市制施工

昭和24年12月 多賀城村笠神及び牛生地区の一部が塩竈市に編入

昭和25年4月 浦戸村と合併

昭和33年3月 第二期拡張事業竣工

昭和33年4月 多賀城市下馬及び笠神地区の一部を給水区域に編入

昭和38年3月 梅の宮浄水場完成

昭和38年4月 大倉川水系給水開始
(七北田川水系給水休止)

昭和43年3月 第三期拡張事業竣工

昭和46年10月 浦戸簡易水道の上水道編入

昭和49年1月 新浜浄水場完成

昭和53年6月 宮城県沖地震(M7.4)

平成2年4月 仙南・仙塩広域水道供給事業からの受水開始

平成15年4月 上水道から生産用水への給水開始

平成23年3月 東日本大震災(M9.0)

水道水中の放射能測定結果について

(測定機関：東北大学他)

12月8日(木)に梅の宮浄水場の水道水について放射能を測定しましたが、**放射性ヨウ素-131**及び**放射性セシウム-134、137**は検出されませんでした。
のことから、塩竈市の水道水は安心してご使用いただけます。

放射能測定は毎月2回行い、結果については随時水道部ホームページなどで公開しています。
問合せ先：梅の宮浄水場 TEL 362-1444

● 過去の放射能測定結果

5月から11月の間に梅の宮浄水場の水道水について10回にわたり放射能を測定しましたが、**放射性ヨウ素-131**及び**放射性セシウム-134、137**は検出されませんでした。

気温が **-4°C** になったら
凍結にご注意を!!

水道管は気温がマイナス4度以下になると凍結することがあります。

また、水道管が露出していたり、屋外の風当たりの強い場所にある場合も凍りやすいので注意しましょう。

○ 凍結を防ぐには？

水道管が露出していたら、布切れや毛布、専用の保温材で保温して下さい。

また、保温ヒーターなどを利用する方法もあります。

○ 水抜栓を使う

寒さが厳しい時は、「水抜栓」を操作し、蛇口を開いて水道管の中の水を抜くことで凍結を防ぎます。水抜栓使用の際は、必ずハンドルを全開又は全閉にしてください。

また、水抜栓がない時は、水道メーターから一番遠い蛇口を少し開けて、水を流しておくことも効果があります。

○ 凍結してしまった？

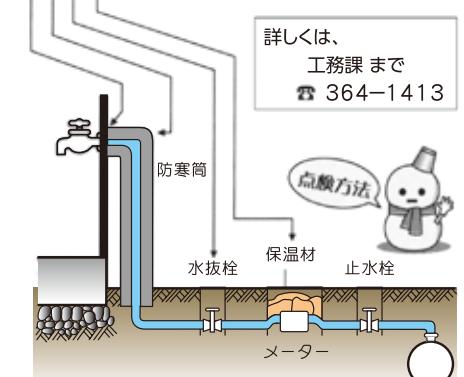
蛇口を開けた状態にしてタオル等でおおい、その上からゆっくりお湯を繰り返しかけてください（タオル等でおおうのは、お湯の余熱を利用するためです）。あわせて部屋全体を暖めると効果的です。

溶かすことができない場合には、指定給水工事事業者にご連絡ください。なお、作業は有料となりますので事前にご確認ください。

寒さ対策は大丈夫ですか？

ご家庭の水道管は、お客様の大切な財産です。突然の冷え込みで、水道管が凍結・破裂すると思わぬ出費になります。そうなる前に、ご家庭で出来る凍結防止方法を確認しましょう。

- ① 壁と防寒筒の間にすきまがないかの点検
- ② 防寒筒が破損して水道管がおき出しひ場合は、防寒筒に古毛布などを巻きつけてビニールをかぶせて保温する。
- ③ 寒さが厳しいときは「水抜栓」を操作して凍結を防ぐ。
- ④ メーターボックスの中に発泡スチロールなどを入れて保温する。



り災証明が半壊以上のお客様へ

塩竈市水道部では、「り災証明」で半壊以上の判定がされた被災家屋の平成23年4月分上下水道料金等を全額減免しております。

「り災証明」で半壊以上の判定がされた被災家屋で、平成23年4月分上下水道料金等が全額減免となっていない方は、「り災証明」と印鑑を、塩竈市水道部営業課窓口までご持参ください。

なお、「り災証明」が交付された給水装置のある場所が対象となります。

営業課料金係 T E L : 022-364-1411